

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスばたばた有瀬校			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日		～	令和7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 7日(金曜日)			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	課外活動が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が活動内容や行先に飽きないよう、職員一人一人が案を出し、遊び要素や学習要素を取り入れた課外活動になるよう意識しながら決めている。 予約が必要な工場見学などは早い時期から決定し、計画的にすすめている。 子ども達用のアンケートBOXを用意し、子ども達の希望を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達用のアンケートBOXを継続する。 今後は保護者の方にもアンケートを取れるよう検討する。
2	活動場所が広い。	<ul style="list-style-type: none"> 部屋は広いがワンフロアなので、家具の配置や活動場所の区分けなどその時々に応じて変更し、活動内容に合った環境を作っている。 職員と子ども達が一緒になって、整理整頓を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的は無駄なものはないか、整理整頓ができていないか等を職員間で確認し、できるだけ子ども達が室内を広く使えるようにする。 療育の一環として、みんなで整理整頓をする習慣を継続する。
3	送迎がある。	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許を保有している職員の確保に努めている。 送迎時間に無駄がないよう、送迎順や送迎ルートの組み合わせを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許を保有している職員の確保、それに伴い送迎ルートを増やせるよう工夫し、すべての利用者の方が安心して送迎を利用できるように努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペースがない。	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所を広く、また職員室を確保している為、スタディールームのような子どもが個別で使えるスペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習時の集中や落ち着くことが難しい子ども、体調が悪い子どもがいる時など、必要に応じて職員室を活用するようにしている。 活動内容や状況、その日に利用する子どもの年齢層などに応じて、仕切りを利用し、広いスペースを区切る工夫をしている。
2	事業所前の道路や駐車場の車通りが多い。	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所だけでなく、隣に2店舗並んでおり、どちらの店舗も車の保有が多く、事業内容により、車の出入りが頻繁に行われている。 事業所前の道路が時間帯によって車通りが多く、歩行者もたくさんいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時など、子ども達の出入りの時には職員配置を工夫し、必ず職員の誘導の元、出入りを行っている。 送迎車が道路に出る時には、事故のないよう必ず別の職員が誘導するようにしている。
3			